

■フランス：ドイツの原子力発電所停止を受けて、フランスの電力輸出が急増

2011年5月31日付フランス経済紙は、ドイツの原子力発電所8基停止を受けて、フランスのドイツ向け電力輸出が大幅に増加していると発表した。2011年4月には前年比48%増の10億1,800万kWhを輸出。この輸出量は現在の市場価格では約6,000万ユーロ（約70億円）に相当する。アナリストの分析によると2011年通期でEDFに5億ユーロ（約580億円）の増収効果をもたらすと予測している。ドイツが脱原子力発電の方針を決めたことで、ドイツによるフランスからの電力輸入が今後とも増加することが予想される一方、フランスは2011年の雨量が少なく、河川から冷却水を採取している原子力発電所では運転停止に追い込まれる可能性もあり、フランスがドイツの需要に応えられるとは限らない。また、フランスでも電力需要がピークに達する冬季では需給が逼迫し、電力を輸入している局面もあり、ドイツをはじめとして脱原子力発電の機運が欧州で高まると、増大する需要に応えることは難しくなる。フランス政府は、ドイツなど諸外国の原子力発電所閉鎖の動きが国内にも波及することを特に警戒している。